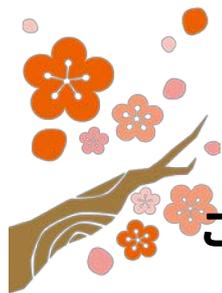


わくわく 本だな

1月



こんげつのおすすめ

★ = 1・2年

★★ = 3・4年

★★★ = 5・6年

『きえたぐらぐらのは』(えほん)

コルネーリア・フンケ/作 ケルスティン・マイヤー/絵
あさみ しょうご/訳 WAVE 出版



おとうととあそんでいたら、アンのぐらぐらのはがきえてしまいました。どこへいったのでしょうか。

『いちばんでんしゃのうんてんし』(えほん)

たけむら せんじ/作 おおとも やすお/絵 福音館書店



いちばんでんしゃは、ごぜん4じにしゅっぱつです。うんてんしさんは、ねぼうしないように、とくべつなベッドでねむります。

『からっぽぽぽ!』 ★

うどん あこ/作 やまもと ゆか/絵 文研出版

「さんすうなんか、大きらい!」きょうかしよをごみばこにポイツ。でも、ぼくまでごみばこにすいこまれてしまった!



『パン屋のこびととハリネズミ

ふしぎな11のおとぎ話』★★★

アニー・M・G・シュミット/作 たちもと みちこ/絵
西村 由美/訳 徳間書店

パン屋さんが、こびとにしつれいなことを言ったばかりに、パンきじがハリネズミになっちゃった!このままでは、パンがやけません。



『がむしゃら落語』 ★★★

赤羽 じゅんこ/作 きむら よしお/絵 福音館書店



ゆうま 雄馬は、学校で落語を発表することになりました。しぶしぶ習いに行くのですが、この落語家がぜんぜんたよりなくて……。

『ガラパゴスに木を植える』(ちしきの本)

藤原 幸一/作 岩崎書店



ガラパゴス諸島しょとうにしかない生き物たちが、今にも滅ぼされようとしています。それは、島の外からやってくるあるものです。



『^{よどがわ}淀川ものがたり ^{ふね}お船がきた日』 (えほん)

小林 豊／作・絵 岩波書店

江戸時代、となりの唐国の船が、大阪にやってきました。子どもたちは、おおはしやぎで唐の人たちと踊ります。



『くつかくしたの、だあれ?』 ★

山本 悦子／作 大島 妙子／絵 童心社



かなちゃんそとは外であそぶのが大すき。でも、ユキはいっしょにおえかきしたいのです。かなちゃんそとが外にいけなくなればいいのに。

『ふたつのゆびきりげんまん』 ★

そうま こうへい／作 マスリラ／絵 小峰書店



おとうさんがやくそくをやぶったせいで、ひろとはしんゆうのまことにうそをついてしまいます。

『^{ひめ}花びら姫と^{まじよ}ねこ魔女』 ★★

朽木 祥／作 こみね ゆら／絵 小学館

妖精をおこらせて、みにくいすがたにされてしまった花びら姫。魔法をとくかぎとなる「とくべつなねこ」をさがしますが……。



『^{きすな}はるかなる絆のバトン』 ★★

小倉 明・篠宮 正樹／作 山口 まさよし／絵 藤川 大祐／監修 汐文社

でんべえは、「古代マシン」というゲーム機きを買いました。それは、恐竜の時代へタイムスリップできるゲーム機だったのです。



『マッティのうそとほんとの物語』 ★★★

ザラー・ナオウラ／作 森川 弘子／訳 岩波書店



パパが、スイスへ引越すなんて大うそをついた。でも、マッティはもう学校ひっこのみんなに言ってしまったあと。どうしよう！

『ふたり』 ★★★

福田 隆浩／作 講談社



クラスで孤立している小野さん。ぼくは1冊の本をきっかけに、彼女と本の謎かのじよになぞいどむ。待ち合わせは、毎週土曜の図書館で。

『^{ぼんさい}盆栽えほん』 (ちしきの本)

大野 八生／作 あすなろ書房

盆栽は、小さな鉢はちの中で、自分の好きな景色けしきをつくることができます。いっしょにやってみましょう。



『お〜い、雲よ』 (ちしきの本)

長倉 洋海／作 岩崎書店

ちょっと空でも見上げてみよう。君の上には、どんな雲が見えるかな？いろいろな季節の空と雲の写真集です。



読みたい本、さがしている本は窓口まどぐちで聞いてね！としょかんのホームページも見てください。

< 編集・発行 > 富山市立図書館 富山市丸の内1丁目4-50 電話 076-432-7273